T2R2 東京科学大学 リサーチリポジトリ
Science Tokyo Research Repository

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題	初年次教育と学生支援
著者	伊東幸子
出典	初年次教育学会第15回大会：大会WEB要旨集
発行日	2022，9
Note	初年次教育学会第15回大会にて発表

Powered by T2R2 (Science Tokyo Research Repository)

Tokyo Tech

2022年　初年次教育学会

「初年次教育と学生支援」

2022年9月6日

東京工業大学
学生支援センター
未来人材育成部門
伊東幸子

目次

１．初年次教育に必要な縦横のひろがり

２．学生支援とは？

３．学生支援センターによる初年次学生支援

伊東幸子　自己紹介

- 東京工業大学学生支援センター 未来人材育成部門長
- 博士（商学、人的資源管理、組織行動、2015年）
- 2006年～：東京工業大学学生支援センター
  キャリアアドバイザー
- 2016年～：東京工業大学学生支援センター
  学修コンシェルジュ
  - 教育改革初年度の学士1年生が困らないようにしてほしいと頼まれた。
  - これ以降、「初年次学生への学生支援」を模索。

初年次教育に必要な縦横のひろがり

１．初年次教育（授業中心、日本）

２．First-Year Experience
（初年次学生の経験全体を扱う、米国）

初年次教育に必要な縦横のひろがり

Tokyo Tech

First-Year Experience(以下FYE）の定義

★FYEとは、単一のプログラムまたはイニシアチブではない。ある高等教育機関内あるいは高等教育機関全体での、アカデミックな取り組みとコ・カリキュラム（co-curricular)の取り組みが、意図的に組み合わされたもののことである。(Kock&Gardner,2006)

★初年次の学生の成功をサポートすることは、簡単に、ある特定分野のみに範囲を定めたり、範囲を限定したりすることのできないトピック。効果的なFYEのためには、キャンパス全体での調整と協力が必要。

（Young＆Keup）

Young(2018), Data from the 2017 National Survey on The First-Year Experience: Creating Connections to Go Beyond Traditional Thinking. https://sc.edu/nrc/system/pub_files/1538846259_0.pdf

良いFYE（First－Year Experience）

良いＦYEプログラムは、カリキュラム（正課）とコ・カリキュラム（Co-curricurrum)にまたがる学生の初年次へのアプローチという特徴を持つ。このアプローチは、その中核となる各大学の使命に追加されるものであったり、つぎはぎで作られるのものではなく、各大学の使命そのものであり、かつ体系的なものである。

(Barefootら、2005)

⇔Victims of Our Own Success?

Singular program as ”Campus FYE”

（１つのプログラム（≒ＦYEの授業）のみが大学のFYE？）

Young(2018), Data from the 2017 National Survey on The First-Year Experience: Creating Connections to Go Beyond Traditional Thinking. https://sc.edu/nrc/system/pub_files/1538846259_0.pdf

最もよく実施されているＦYEプログラム

1. First-year academic advising （ADV） 80.4
2. Early alert systems （EA）79.0
3. Pre-term orientation (OR) 75.4
4. First-year seminars (FYS) 73.5
5. Placement testing （PT）65.9
6. Peer education （PE）62.3
7. Student success center（SSC） 55.2
8. Developmental education （DEV）54.5
9. General education （GE）54.1
10. Convocation （CNV）52.6(入学式)

Young(2018), Data from the 2017 National Survey on The First-Year Experience: Creating Connections to Go Beyond Traditional Thinking. https://sc.edu/nrc/system/pub_files/1538846259_0.pdf

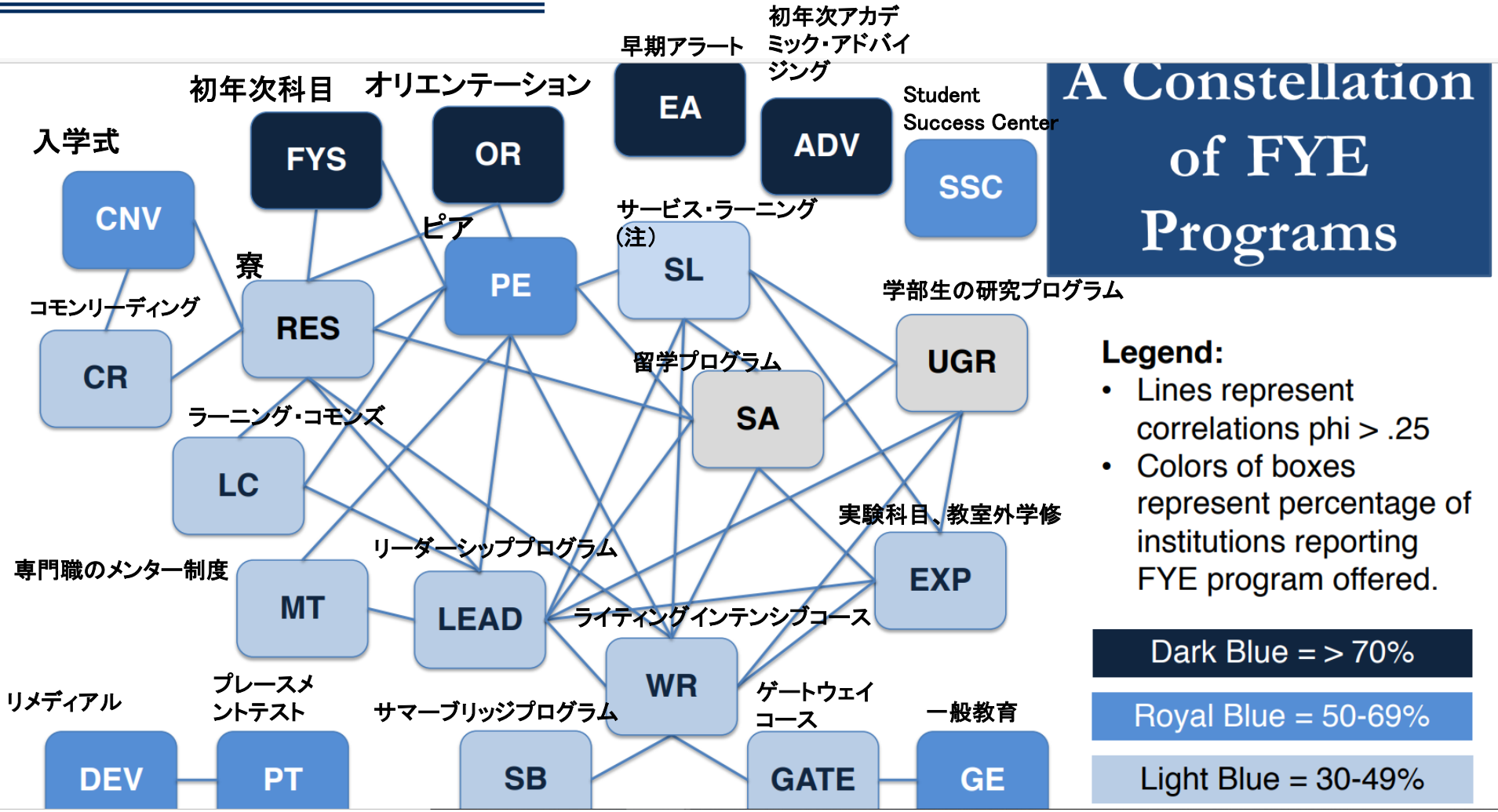
あるべきFYE（First－Year Experience）

真の FYEは、1 つだけの「スター」プログラムだけで構成されるものではなく、一連の支援プログラム（support program)の布置（constellation)によって構成されている。

(Greenfield、Keup and Gardner、2013)

Young(2018), Data from the 2017 National Survey on The First-Year Experience: Creating Connections to Go Beyond Traditional Thinking. https://sc.edu/nrc/system/pub_files/1538846259_0.pdf

Constellation(布置）のイメージ



（注）サービス・ラーニングは，教室で学ばれた学問的な知識・技能を，地域社会の諸課題を解決するために組織された社会的活動に生かすことを通して，市民的責任や社会的役割を感じ取ってもらうことを目的とした教育方法。（筑波大学ウェブサイトより引用、http://www.human.tsukuba.ac.jp/gakugun_bk/k-pro/aboutSL/aboutSL.html（2022.8.30））

Young(2018), Data from the 2017 National Survey on The First-Year Experience: Creating Connections to Go Beyond Traditional Thinking. https://sc.edu/nrc/system/pub_files/1538846259_0.pdf

日米の理工系大学初年次学生の違い

No.	所属大学（国）	これまで大学で経験した課外活動	経験数	国別平均
1	T工業大学（日本）	ダンスサークル	1	1.2
2	T工業大学（日本）	フットサル、インカレの機械学習サークル	2	
3	T工業大学（日本）	登山サークル、生協の新入生サポートセンター	2	
4	T工業大学（日本）	無線研究会	1	
5	T工業大学（日本）	特になし(コロナ禍で入れなかった)	0	
6	M工科大学（米国）	ピストルのサークル、学生団体（ハッカソン、キャリアカフェなどのイベント開催、複数の班に分かれている。団体のアートディレクターをつとめている。）、ソロリティ	3	4.4
7	M工科大学（米国）	スクエアダンスサークル、リズムゲームサークル、特定のゲームに関するのDiscordチャットのグループ、１年生の時に住んでいた寮のコミュニティ（アート、マンガ、アニメ）、今住んでいるシェアハウスのコミュニティ、アニメドローイングのコミュニティ、インディペンドアクティビティーズ期間に友人2人とタイピングゲーム作成	7	
8	M工科大学（米国）	アカペラグループ、ダンスチーム、インカレの数学コンペティション（ハーバード、MIT）、住んでいる寮のコミュニティ（スタディブレイクでリラックスする）、	4	
9	M工科大学（米国）	黒人学生会、NSBI(全米黒人エンジニア協会）、VRクラブで学内のハッカソンイベントとりまとめ、寮のスタディブレイククラブ（ワッフルウェンズデー担当）、	4	
10	G工科大学（米国）	オナープログラム（honor program)、ボート部（途中まで）、中国人留学生・研究者協会(コロナ禍の関係で十分に課外活動が出来なかった）教会と協力して留学生の支援をする活動（語学、住む場所などのサポート）	4	

2021年～2022年
M工科大学、G工科大学（米国）合計5名、T工業大学（日本）合計5名の学生へのインタビュー結果より。
(東京工業大学 人を対象とする研究倫理審査　許可番号　2021216)

初年次の課外活動経験を聞く質問

「学業以外にどのような課外活動を行っていましたか？（部活、サークル、アルバイト、インターンシップ、フラタニティなど）」

米国の学生の方が経験している課外活動の数が多い。

学生支援

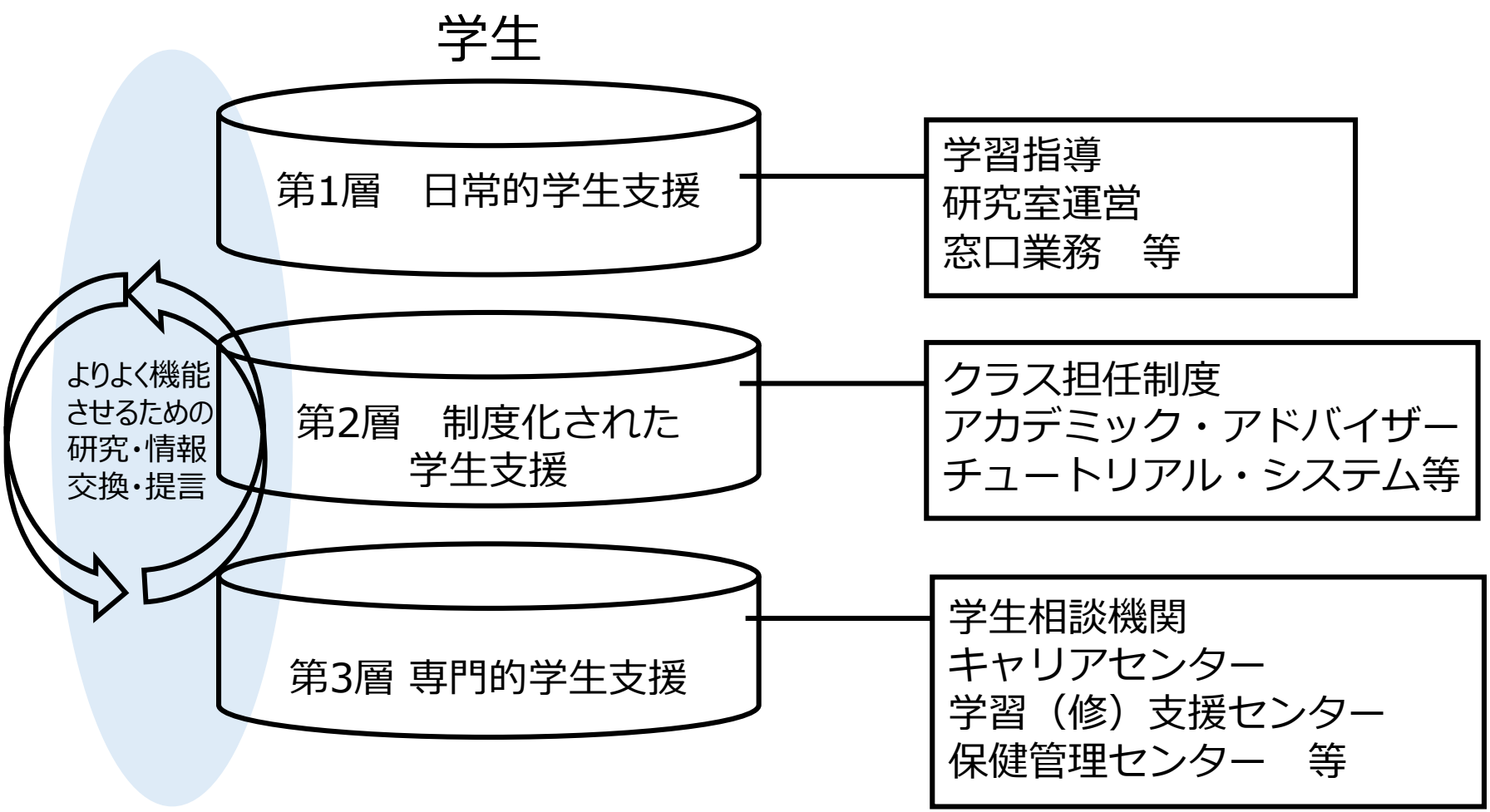
2000年「大学における学生生活の充実方策について（報告）ー学生の立場に立った大学づくりを目指してー」（通称：廣中レポート）

・1958年の学徒厚生審議会で重要性が強調された大学の正課外教育への取り組みが遅れていることを指摘し、今後の大学の在り方として、「教員中心」の大学から「学生中心の大学」への視点の転換を提言。

・学生への指導体制の充実への改善が求められる領域

- 学生相談
- 就職指導
- 修学指導
- 学生の自主的活動
- 学生関係施設

学生支援



学生支援の3階層モデル

出典：独立行政法人日本学生支援機構　大学における学生相談体制の充実方策について-「総合的な学生支援」と「専門的な学生支援」の「連携・協働」-(平成19年3月）.
引用：日本学生相談学会50周年記念誌編集委員会（編）（2010)『学生相談ハンドブック』,学苑社.

学生支援センター

学生相談部門

- 学生相談室
- バリアフリー支援室

未来人材育成部門

- キャリア支援部門
- 修学支援部門（おもに初年次学生を支援）
- 自律支援部門（学生自主活動支援）
- 国際交流支援部門

学生支援センターによる初年次学生支援

Tokyo Tech

１．学士課程ガイダンス及びオリエンテーション情報交換会　運営（2017年～年2回定期開催）⇒関係者が同じテーブルにつく

・全学の初年次学生に関わる教職員に声かけ

1年生が履修する科目（理工系、文系）、学生が所属する学院、学生支援センター及び保健管理センター、学務部（教務課、学生支援課）、体育、教職などの選択科目。

・各所で開催する入学時オリエンテーション、ガイダンスについて情報共有することが主目的。関係者の顔合わせ、アカデミック・アドバイジングや初年次学生からの相談の状況なども適宜共有。

・2020年4月に「新入生welcome相談窓口（学生からのメール相談のポータル）」を作る母体となった。

学生支援センターによる初年次学生支援

２．初年次学生に対する入学時の修学ガイダンス

（学士、大学院）

・大学への帰属意識の醸成、新入生同士の顔合わせを大きな目的とする。

学長、先輩学生（学生支援センターの学生スタッフ）、卒業生が学修コンシェルジュ（学生支援センターの専門職）と一緒に内容を考え、講師を務める。

（東工大生（卒業生含む）による新東工大生のための歓迎ガイダス）

・教務課、各学院での入学時オリエンテーションとのすみわけ

https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/extracurricular/jobs-campus/concierge-jr

学生支援センターによる初年次学生支援

Tokyo Tech

３．初年次学生の1年間、必要な時に必要な情報を提供

１）東京工業大学学修コンシェルジュLINE公式アカウント（月2回配信）

・履修申告や追加申告等の手続き関係、初めての定期試験等の情報

・学内のイベント情報　など

２）Tokyo Tech Study Tipsシリーズ　（ちょっとした困りごとへの対応）

・LMSでの課題提出方法

・物理学実験レポートの書き方　など

３）　私はこうして進路を決めた　シリーズ　（系所属の助けになるよう）

・教員の進路決定についてのインタビューシリーズ

いずれも、学生スタッフ（学修コンシェルジュJr.）が、学修コンシェルジュ（専門職教員）、部門委員教員の指導を受けて作成・実施。

https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/extracurricular/jobs-campus/concierge-jr

学生支援センターによる初年次学生支援

４．正課外セミナーの開催

１）IoT導入教育セミナー

２）アートセミナー

・これらの分野がカリキュラムにない学生の学生対象

・「理論を学ぶ前にまず手を使って動かす」スタイル

https://www.titech.ac.jp/news/2022/064521

https://www.titech.ac.jp/news/2021/062461

https://www.titech.ac.jp/news/2022/064195

学生支援センターによる初年次学生支援

5．学生同士の学び合い・教え合いの為の環境構築

1）学生交流の場所の整備

https://takiplaza.gakumu.titech.ac.jp/

2）ピア・アドバイジング、ピア・チュータリング体制構築

3）学生の自主活動活性化支援

https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/extracurricular/jobs-campus/concierge-jr

学生支援センターによる初年次学生支援

６．今後の課題（初年次教育に必要な縦横のひろがり）

１）初年次だけでなく、2年次、3年次、4年次・・・・
それぞれの「年次」に特有の課題がありそう。
・初めての専門
・初めての研究室
・インターンシップや就職活動
・大学院進学・・・
⇒学生支援センターの中で「キャリア支援部門」との
協業を視野にいれていきたい。

２）学生支援施策の効果測定：何で測るか？

ご清聴ありがとうございました。